

大橋広好：シロバナノキリ（キリ科）

東北大学植物園津田記念館

Hiroyoshi OHASHI: A White-Flowered Form of *Paulownia tomentosa* (*Paulowniaceae*)

Herbarium TUS, Botanical Garden, Tohoku University, Sendai, 980-0862 JAPAN

E-mail: ohashi@m.tohoku.ac.jp



Fig. 1. *Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud. f. *virginea* H. Ohashi. Habit of the type tree (A) and flowers (B) at Mori-yama, Niyodogawa-chō, Kochi Pref., 26 Apr. 2013. Photo by T. Nakazawa.

Summary: A pure white-flowered form of *Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud. (*Paulowniaceae*), f. *virginea* H. Ohashi, is described from Kochi Pref., Shikoku, Japan.

改訂新版『日本の野生植物』（平凡社）第5巻でキリ科を分担し、キリについて調べたところ、中澤 保『四国の野生を主とした樹木〔県別分布・

写真編』2014』（2014）に純白のキリ花の写真があることに気付いた。高知県吾川郡仁淀川町森山で2013年4月26日に撮影されている。中澤氏に問い合わせたところ、写真の白花キリは、2003年頃に鶴沢政利氏が高知県高岡郡越知町野老山倉良の国道33号線と仁淀川との間の斜面に生えていた1本を見つけ、その枝を採取して、仁淀川町森山の自宅裏のキリに接木したものとのことであっ

た。中澤氏は2013年5月1日に鶴沢氏と原産地を訪れたとのことである。原木は道路から約5–6 m下がり、仁淀川の平時の水面からは約20 mの高さにあるメダケ林中の斜面に生えていたもので、根元は直径約30 cmで高さ約1.4 mのところ折れており、すでに枯死していたという。中澤氏の観察では、多分2013年の1–2年前に風倒したのではないかとのことである。山中二男：高知県の植生と植物相(1978)や高知県植物誌(2009)にはキリの白花品の記録はない。日本国内はもとより、韓国・中国で白花品があれば、人眼につく樹木であるからすでに記録があろうと探してみたが見つけれなかった。恐らく現地で生まれたごく稀な突然変異株と推測される。

Fig. 1(A)の写真はタイプ株で樹高約7 m、鶴沢氏が栽培している。タイプ標本はこの樹から得たものである。ここに品種として命名する。和名は中澤氏の名付けたシロバナノキリを用いたい。

Paulownia tomentosa (Thunb.) Steud., Nomencl. Bot. ed. 2, 2: 278 (1841).

f. *virginea* H. Ohashi, f. nov.

It differs from f. *tomentosa* only in having pure white corolla.

Type: JAPAN. Shikoku. Kochi Pref. Agawagun, Niyodogawa-chō, Moriyama. Cultivated at Tsurusawa's garden (Originally collected by M. Tsurusawa at Ochi-chō, Tokoroyama, Kurara in ca. 2003). 26 Apr. 2013. T. Nakazawa 29670 (TUS 482550, 482549–holotype); T. Nakazawa 29671 (TUS 482548–isotype).

Nom. Jap. : Shirobana-no-kiri (Nakazawa 2014).

シロバナノキリの情報と標本とを提供して下さった高知県南国市の中澤 保氏と中澤氏にご協力下さった仁淀川町の鶴沢政利氏にお礼申し上げます。

要 旨

高知県から純白花をつけるシロバナノキリ（新称；キリ科）*Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud. f. *virginea* H. Ohashi を報告した。